

*前期比：DI・季節調整済

景況

今期の業況判断DI値は-29と前期の予想DI値を7ポイント上回り、実績に比べると22ポイント改善する結果となり、売上、収益、資金繰りともに改善しました。

来期の予想業況判断DI値は-35と今期より6ポイント悪化すると予想しており、売上、収益、資金繰りとも後退すると予想しています。

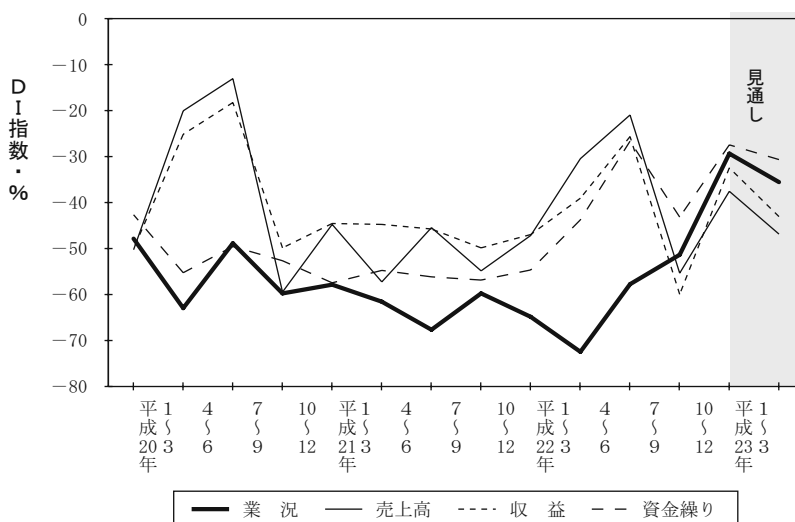
調査員のコメント

- 優良物件発掘に努力する等営業成果が現れ、不動産流通が鈍いところに、売上が増加している。

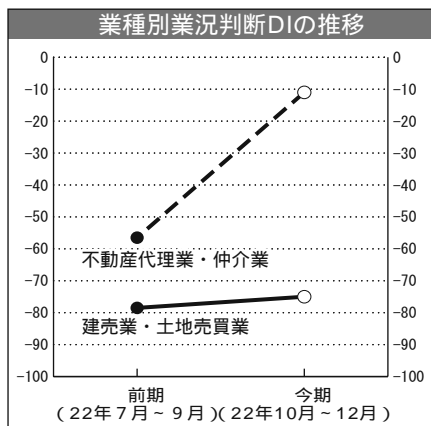
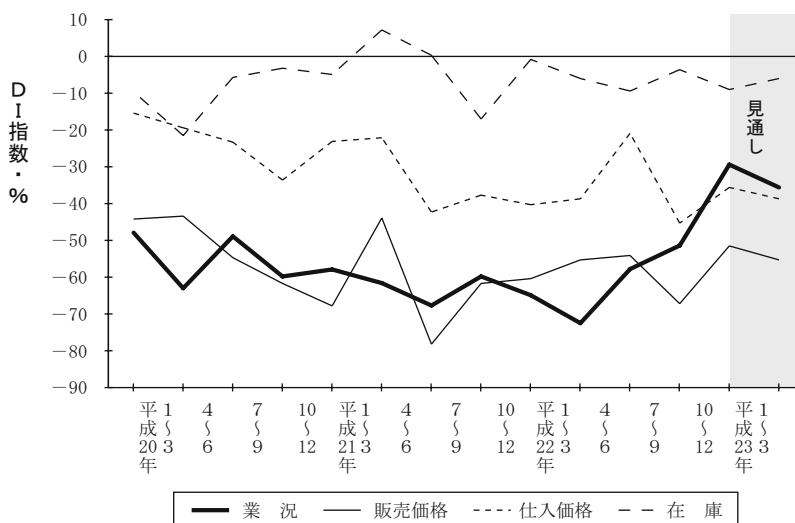
(不動産売買業)

- 売却物件の動向は停滞気味であるが、賃貸物件の仲介は増加している。(不動産売買・賃貸仲介業)

景況の推移



主な指標の動き



順位	問題点	社数	割合
1位	売上の停滞・減少(1)	13社	(57%)
2位	利幅の縮小(2)	11社	(48%)
3位	同業者間の競争の激化(3)	9社	(39%)

順位	施策	社数	割合
1位	情報力を強化する(1)	16社	(70%)
2位	経費を節減する(2)	10社	(43%)
3位	宣伝・広告を強化する(3)	8社	(35%)

*()は前回順位 *対象企業総数は20社

残業、人手、設備状況

